

あした 未来へつなぐ

【CS】



ひとりでも多くの人の役に立つために、この北海道で地域と人のために私たちができること。JR北海道グループは、いま真摯に向き合います。「未来(あした)へつなぐ」ために。

文＝本間 吾里砂

平成二十六年八月三十日、駅構内全面禁煙化を実施！対象は札幌圏(Kitacaエリア)の五十五駅。多くのお客さまに評価いただき、JR北海道！

J

JR北海道では、お客さまの要望や社会的な禁煙志向の高まりを受けて、昨年八月三十日のダイヤ改正と同時に、駅構内の全面禁煙化に踏み切りました。対象となったのは、IC乗車券「Kitaca」が使える札幌圏の五十五駅。これにより、分煙設備のある駅や、当初から灰皿を設置していない駅を除き、五十一駅が全面禁煙となりました。JR各社や主な私鉄で

も、以前から各都市圏における駅構内の全面禁煙化に取り組んでおり、JR北海道でも取り組みました。実施にあたっては、各駅のホームおよび駅舎周辺の灰皿を撤去するとともに、道内主要駅に禁煙告知ポスターを掲出しました。また、灰皿が置かれていた場所には禁煙ステッカーを貼ってPR。ステッカーについてはユニバーサルデザインのもの新たに作成し、順次切り

平成26年
8月30日(土)より
札幌圏(Kitacaエリア)
駅構内
全面禁煙

全面禁煙エリア (Kitacaエリア) 北海道医療大学
小樽 札幌 白石 岩見沢
新千歳空港 南千歳 苫小牧

次の駅構内に掲示いたします
札幌駅(北口・改札内・ホーム上)
新千歳駅(改札内)
南千歳駅(改札内待合室)

お皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

札幌圏の駅構内全面禁煙化をPRするポスター。道内主要駅に掲出し、周知を図っている。

替えを進めていきます。実施から約半年が経ちましたが、アンケートによると八割以上の方に賛同いただいているほか、禁煙化を望む声や喫煙環境の改善を求める



ホームなどで見かける全面禁煙のステッカー。

声は以前と比較すると減少しました。なお、札幌駅の北口・改札内・ホーム上、南千歳駅の改札内待合室、新千歳空港駅の待合室については、それぞれ分煙設備のある喫煙所が設置されているので、従来通り喫煙することが可能です。受動喫煙の危険性が叫ばれ、社会における禁煙や分煙の動きが加速する中、JR北海道でも時代の流れに乗って、さまざまな禁煙対策を講じてきました。平成十八年には、JR各社に先駆けて、特急列車の全面禁煙化を実施。駅においても、たばこを吸うお客さま、吸わないお客さまの双方が快適にご

利用できるよう、道内主要駅に排煙設備のある喫煙所を設置し、分煙にも着手しています。喫煙所のない駅については、煙の影響が小さいと思われる場所に灰皿を移動するなど、試行錯誤を重ねながら最善の道を探ってきました。その意味で、札幌圏の駅構内全面禁煙化は、これまでの地道な活動の成果とも言えます。

JR北海道では、今後もお客さまの声に耳を傾け、より快適に利用できる公共交通機関を目指し、より一層の改善に努めていきます。



※上記路線圏内の駅が全面禁煙となります (主な駅のみ記載)



桑園駅。駅構内全面禁煙化の実施前(左)と実施後(右)。